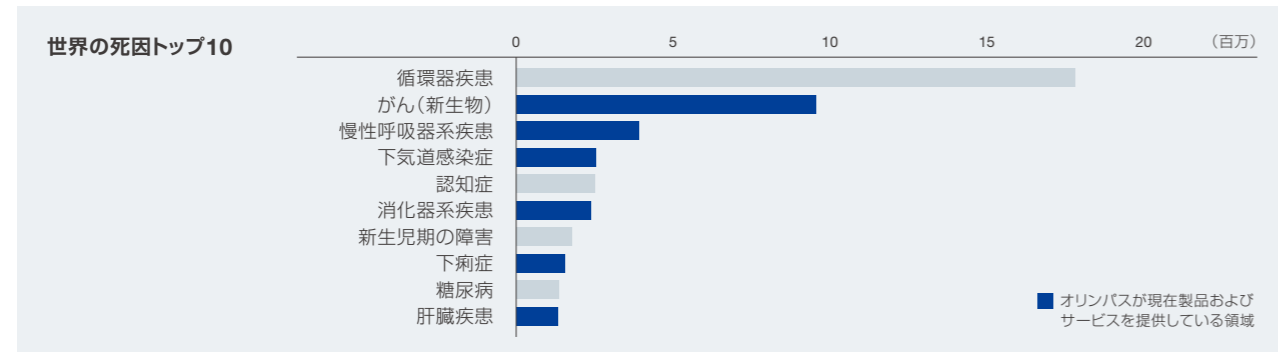


Global Healthcare Data

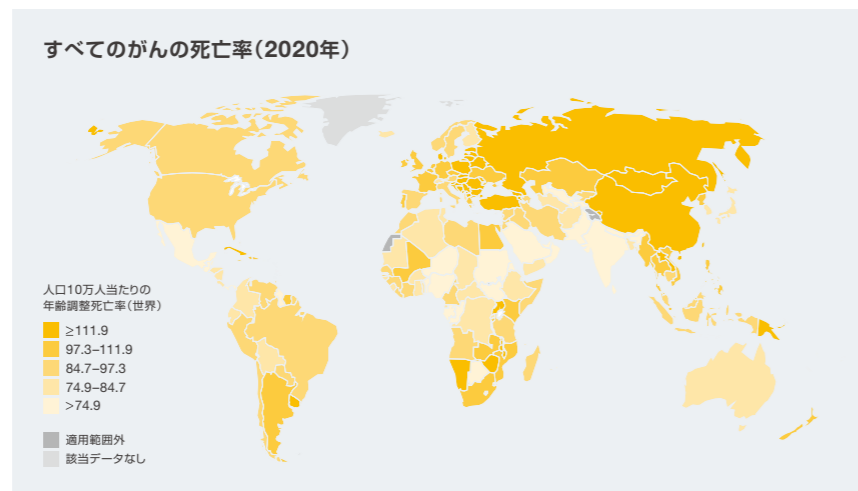
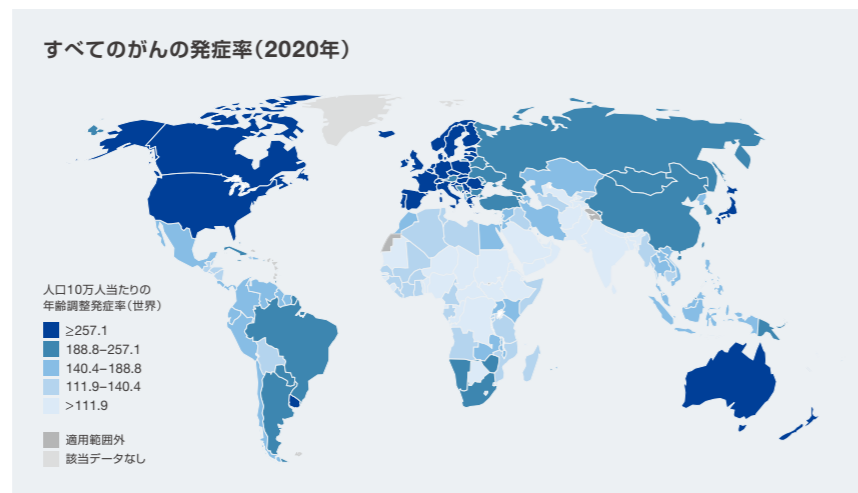
疾患

- がんは世界最大の死因の一つであり、毎年約1,000万人の人が亡くなっています。



出典: OurWorldInData (2017)

- がん検診の実施や、早期発見、早期診断、早期治療の技術が普及している欧米、日本などの地域においては、がんの発症率は高いものの、死亡率は低い傾向が見られます。
- 一方で、世界には新興国を中心に、死亡率が増加している地域も多く見られます。
- オリンパスは、内視鏡医の育成をサポートする取り組み等を行うことにより、医療機会を幅広く提供していくことに貢献していきます。

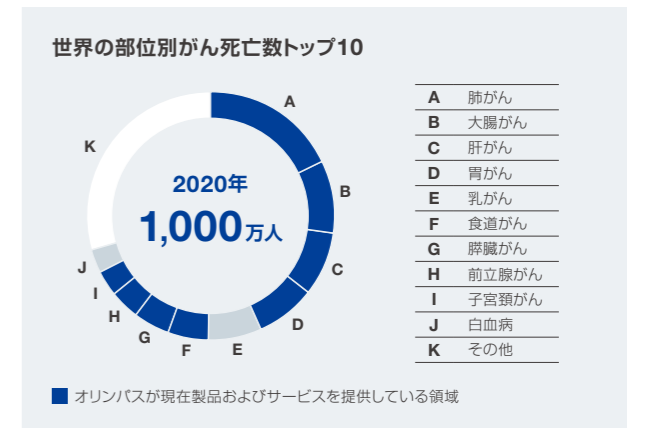
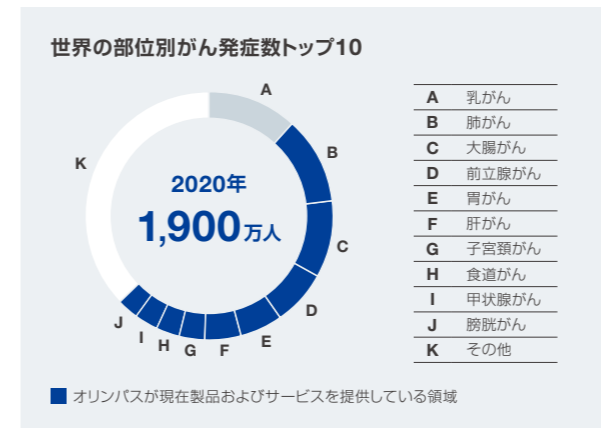


All rights reserved. The designations employed and the presentation of the material in this publication do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization / International Agency for Research on Cancer concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate borderlines for which there may not yet be full agreement.

出典: GLOBOCAN 2020
Graph production: IARC
(http://gco.iarc.fr/today)
World Health Organization

がん

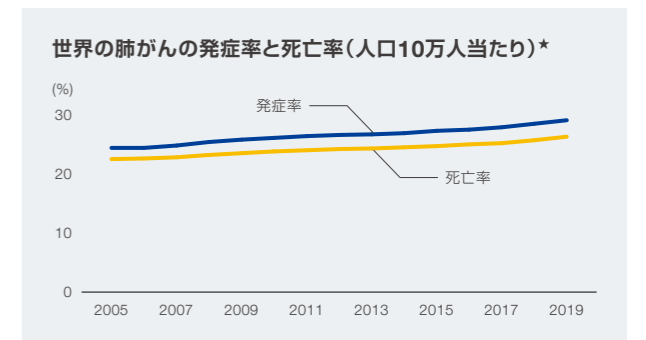
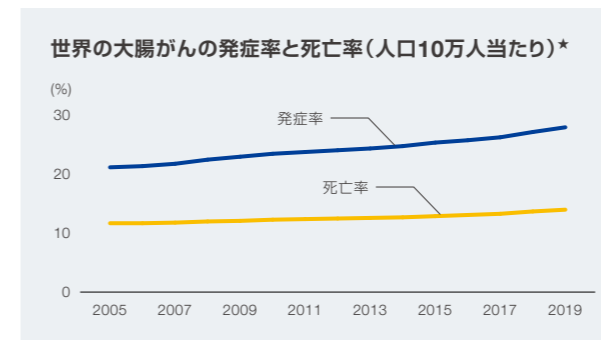
- がんの死亡者数を部位別に見ると、肺がんは世界1位、大腸がん世界2位となっています。
- オリンパスは、さまざまな部位のがんに対する製品ポートフォリオを有しており、早期発見、早期診断、早期治療の価値を提供することで、多くの患者さんに貢献していきます。



出典: GLOBOCAN 2020

大腸がんと肺がん

- 大腸がん、肺がんは発症率、死亡率ともに緩やかな増加傾向にあります。



- 今後も大腸がんの発症率は増加が見込まれますが、大腸がんは、早期発見および早期の適切な治療により治りやすいがんの一つであり、早期発見が非常に重要です。
- オリンパスの大腸内視鏡は大腸がん検診、診断、治療等に使用されており、全世界で約5,000万症例実施されています。

- 肺がんスクリーニング検診は増加傾向であり、それに伴い診断すべき肺結節の確定診断の症例が増加していくことが想定されています。
- オリンパスの気管支鏡はステージング診断等においても使用されており、全世界で約350万症例実施されています。

★ 出典: Institute for Health Metrics Evaluation. Used with permission. All rights reserved.